

夢のかけ橋

高知県教育だより ～ 第6号 ～

平成21年（2009年）

9



高知県教育振興基本計画が策定されました



9月16日の教育委員会において、本県における今後10年間を見通した教育の振興を図るための中長期的な計画である「高知県教育振興基本計画」が決定されました。

この計画は、「学力向上・いじめ問題等対策計画」など既に策定又は今後策定する個別計画の上位に位置づけられる「総合的かつ体系的な計画」であり、すべての県民の皆様を対象として、乳幼児期の教育や学校教育、あるいは自ら学ぶ学習も含めた「生涯学習の理念」にも基づく幅広いものになっています。

本県の教育は、学力や体力、生活面で大きな課題を抱えています。このような状況は、高知県の子どもにとっても、また大人にとっても本当に残念なことです。計画では、こうした課題を解決

し、高知県の持つ特性や強みを教育に生かしていくため、「将来の基礎となる力を育成する教育の実現」、「強み」をさらに生かし、伸ばす教育の実現、「教育による社会変革の実現」という3つの方向性を掲げていますが、全国の中でも極めて厳しい現状にある社会や経済などの諸課題も教育によって解決する気概を持って取り組んでいくという強い意志も示しています。

この計画を実効あるものとするためには、県教育委員会だけでなく、市町村教育委員会や各学校現場がお互いにベクトルを合わせ、地域の皆さんとともに教育振興に取り組んでいく必要があります。

来月には、この計画を全教職員に配布する予定です。課題や方向性をご理解いただき、高知県の教育振興を着実につなげていくよう、一人ひとりの取り組みをよろしく願います。

高知県教育長 中澤 卓史

県教委の動き

◎放課後子どもプラン推進事業「放課後学習室」がスタートしました

県教育委員会では、すべての小学校区で放課後児童クラブや放課後子ども教室を設置して、放課後の子どもたちの安心安全な居場所づくりを推進しています。今年度は、この児童クラブや子ども教室で宿題等の学習習慣を身につけ、子どもたちの学ぶ意欲を育む取り組みを始めています。

また、中学校でも放課後に英・数を中心とした学習の場として「放課後学習室」が新たにスタートしました。本年度は、県内の25中学校で実施する予定です。各校では教員OBや塾の講師、大学生や高校生等が学習指導を行うなど、地域の方々の協力のもとに、基礎学力の定着と学力向上を目指した取り組



みを進めています。

具体的事例として、須崎中学校では、隣接する県立須崎高等学校の高校生8名が講師として活躍しています。中学生にとっては、将来の自分をイメージできる高校生が分からないところを親切丁寧に指導してくれることで、学習意欲が湧き、学ぶことや分かることの楽しさを実感しているようです。

この事業が、県内の子どもたちの学ぶ意欲を育み主体的な学びの場になるよう、市町村や学校と連携して取り組んでいきたいと考えています。

生涯学習課 家庭・子育て支援担当 (TEL) 088-821-4897



生涯学習課 家庭・子育て支援担当 (TEL) 088-821-4897

◎「高知くろしおキッズ」を認定しました ～高知県ジュニア選手育成事業～

スポーツ健康教育課では、本年度より小学4年生～6年生を対象に、高知県の競技力向上と将来、日本のトップとして活躍できる選手の育成を目指し、高知県ジュニア選手育成事業をスタートしました。

その内容は、2回の体力測定〔パワーアップチャレンジ〕で選抜された小学生を、様々な育成プログラムを通して個々のレベルアップを図っていくものです。

今回、予想を上回る155名の児童（小学4・5年生）が、パワーアップチャレンジに参加し、8月8日・9日に「チャレンジ1」、8月30日に「チャレンジ2」として、新体カテストや専門体力測定を行いました。参加した児童は、ボール投げや反復横跳びなどの種目に真剣に取り組み、その結果、41名の児童が「高知くろしおキッズ」に認定されました。

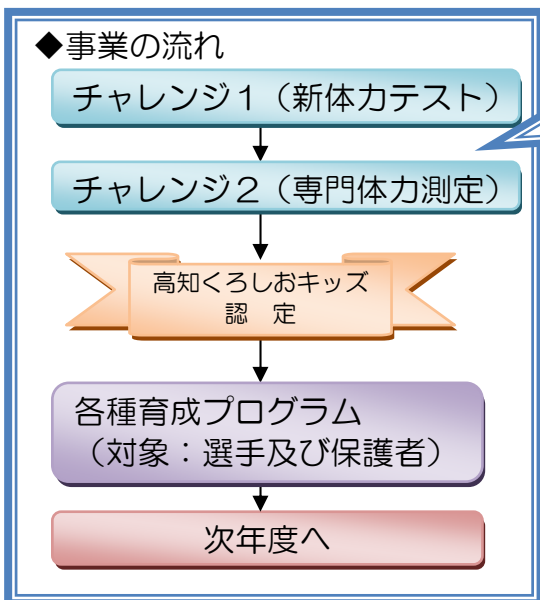
スポーツは、体力測定の数値が高いことだけで、よい記録や成績ができるほど単純なものではありませんが、今回の測定結果をみると、小学生は大きな可能性を秘めていることが感じられました。なによりも小学生が一生懸命チャレンジする姿は頼もしく、今後の活躍が期待されるところです。

また、保護者の方々も非常に熱心で、「将来スポーツで大きく羽ばたいて欲しい」という我が子への強い思いを感じました。

今後、多くの小学生にスポーツへの関心・意欲を高めてもらうためのサポートを行っていきます。将来のトップアスリートを目指している小学生の「夢のかけ橋」となるように…。



スポーツ健康教育課 競技スポーツ担当
(TEL)088-821-4649



今回、パワーアップチャレンジに参加した児童は、スポーツに対する関心が高く、測定結果の平均は全国平均を上回っていました。



9月22日の発足式以降のプログラム等の内容

- ①「高知くろしおキッズ」対象の育成プログラム（15回）
- ②保護者プログラム（栄養・スポーツ傷害の予防等）
- ③選考されなかった小学生への情報提供（スポーツ教室の案内等）

<高知県ジュニア選手育成事業（高知くろしおキッズ「パワーアップチャレンジ2009」HPアドレス）>
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310501/junior.html>

トピックス

◎全国学力・学習状況調査から見た課題について

平成21年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されたことを受け、3年間の調査から見てきた課題と今後の方向性をまとめました。今後、詳細な分析を加えまして各学校にもお届けします。各学校においても、調査結果を分析し授業の改善などにつなげてください。

小中学校課 学校教育第二担当
(TEL) 088-821-4908

3年間の全国学力・学習状況調査から見た課題

国語の調査結果から

- ★目的や意図に応じて、話したり、聞いたり、書いたり、読んだりすることに課題
- ★漢字や語句を文脈に即して使うことに課題
特に中学校において、小学校で学習した漢字が未定着
- ◆目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業や様々な文章を読む習慣を付ける授業の実施率が少ない。

算数・数学の調査結果から

- ★四則計算はできるが、それを問題解決のために活用したり、表やグラフから必要な情報を読み取ったりすることに課題（算数）
- ★学習の基礎となる文字式や方程式の活用に課題（数学）
- ★解決方法の手順の実を理解し、既習事項と関連づけたり、根拠を説明したりすることに課題（数学）
- ◆算数・数学がよくわかったと回答した小中学生の割合は全国とほぼ同じであるが、正答率に反映されていない。
- ◆算数・数学の指導で発展的な指導を行った中学校の割合は全国を下回っている。



学習の質の向上と学習量の確保

- ・ 価値ある学習課題
- ・ 定着を図る繰り返し学習

◎平成20年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果について

～小中学校不登校、高等学校長期欠席・中途退学～

平成20年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査において、小中学校の不登校、高等学校の長期欠席・中途退学の調査結果が8月6日（木）に公表されました。高知県における調査結果は次のようになっています。

≪国・公・私立の小中学校における不登校児童生徒の状況≫

- ① 平成19年度と比較して、小学校でやや減少（201人→184人：17人減少）し、中学校では大きく減少（745人→664人：81人減少）した。不登校児童生徒の発生率は小学校が0.45%、中学校が3.05%、全体で1.36%となっている。
- ② 公立学校を学年別でみると、学年が進むにつれて多くなっており、中学3年生が258人と最も多く、全体の32.5%を占めている。
- ③ 不登校のきっかけと考えられる状況は小学校では「本人に関わる問題」が、中学校では「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が最も多く、また、不登校が継続している理由としては、小中学校とも「不安など情緒的混乱」が最も多い。

≪公立高等学校における長期欠席及び不登校≫

- ① 平成19年度と比較して、全日制、定時制ともに長期欠席者数が減少（全日制308人→224人：84人減少、定時制246人→226人：20人減少）した。
- ② 長期欠席者数に占める不登校生徒の割合は、平成19年度と比較して全日制でやや増加（50.3%→54.0%）しており、定時制では大きく減少（54.5%→40.7%）した。
- ③ 不登校になったきっかけと考えられる状況については、「極度の不安や緊張、無気力、本人に関わる問題」が42.3%で半数近くを占めている。

《公立高等学校における中途退学》

- ① 平成19年度と比較して、中途退学者数は減少(全日制325人→272人:53人減少、定時制132人→131人:1人減少)となっている。
- ② 全日制の中でも普通科の中途退学率は0.8%と前年の1.6%から大きく減少し、定時制においては中途退学者数は横ばい状態にある。中途退学率はここ数年、全国の定時制平均が13から14%台であるのに対し、高知県ではそれよりも少し低い10%前後で推移している。
- ③ 中途退学の理由としては「もともと高校生活に熱意がない」「別の高校への入学を希望」などが多くあげられる。

これらの項目について、国・公・私立を合算すると、小中学校の不登校児童生徒数は1,000人あたりで、19年度の14.9人から20年度は13.6人に減少し、全国ワースト2位から6位へ、高等学校の不登校も19.2人から14.9人に減少し、全国ワースト9位から28位へ、中途退学発生率は2.8%から2.1%に減少し、全国ワースト2位から7位へと改善されてきています。

この結果は「校内支援体制を整備したうえでの早期支援」「小・中・高の連携」など学校・保護者・教育行政が未然防止や早期対応に向けて連携をはかり、地道に努力してきた成果だと考えています。ただ、改善はされているものの、まだ多くの悩みを抱えている不登校児童生徒や中途退学者がいます。県教委でも、学校や関係機関と連携して、更なる改善をめざして取り組んでいきます。

人権教育課 心の教育担当
(TEL)088-821-4909

お知らせ

◎行事予定(10月、11月の主なもの) <注>現時点での予定です。日程の都合により変更される場合があります。

平成21年10月

- 8日～9日 中四国高等学校長会(高知市 三翠園 8日13時～)
- 15日 第38回県教育文化祭、第43回県定通生徒生活体験発表会(高知市 県民文化ホール 18時～)
- 17日 若者支援フォーラム・相談会(安芸市 総合社会福祉センター 13時～)
- 18日 四国ブロックPTA研究大会(高知市 県民文化ホール・高知会館 10時30分～)
高知県学校図書館協議会との意見交換会(高知市 県庁西庁舎教育長室 10時～)
- 19日 地域教育懇談会(須崎市 市民文化会館 18時30分～)
- 20日 地域教育懇談会(高知市 心くし交流プラザ 18時30分～)
- 21日 地域教育懇談会(四万十市 文化センター 18時30分～)
- 23日 地域教育懇談会(安芸市 総合社会福祉センター 18時30分～)
- 25日 高知県高等学校PTA連合会功労者表彰式(高知市 高知会館 13時30分～)
- 26日 四国4県教育委員意見交換会及び教育長会(高知市 高知会館 13時30分～)
- 27日 定例教育委員会(高知市 県庁西庁舎教育委員室 13時30分～)
- 28日 日本モラロジー協会図書寄贈式(高知市 県立図書館 14時～)
全国生涯学習フォーラム高知大会第1回実行委員会(高知市 高知会館 15時～)
- 28日～30日 道徳教育指導者養成研修(高知市 高知会館 28日9時15分～)
- 29日 ユニセフキャラバンキャンペーン「教育長とのメッセージ交換」(高知市 未定 10時～)
- 30日 第121回近畿府県市争訟事務連絡協議会(高知市 高知会館 13時30分～)
- 31日 「日本のわざと美」展開会式(高知市 県立美術館 10時～)

平成21年11月

- 5日～6日 第32回中国・四国地区社会教育研究大会
(高知市 かるぼと・高知会館・高新文化ホール・高知共済会館・高知市立吉原公民館 10時～)
- 10日 高知県町村教育長会秋季研修会(中土佐町 文化会館 13時30分～)
- 13日 全国生涯学習フォーラムキックオフイベント<中学生パワーアップ講座>
(香南市 香我美中学校 13時45分～)
- 14日 全国生涯学習フォーラムキックオフイベント<学校を核とした地域コミュニティの再構築>
(香美市 高知工科大学 10時～)
- 19日 四国地区小中学校教頭会研究大会開会行事(高知市 県民文化ホール 12時～)
- 21日 第30回全国歯科保健大会(高知市 県民文化ホール 12時30分～)
- 22日 じんけんふれあいフェスタ2009(室戸市 保健福祉センター 9時30分～)
- 24日 定例教育委員会(高知市 県庁西庁舎教育委員室 13時30分～)

編集後記

「夢のかけ橋」第6号をお届けします。天高く馬肥ゆる秋になりました。運動・読書・勉強・芸術など、興味・関心のあるものに取り組むにはもってこいの季節です。また、秋の夜長を家族と一緒に落ち着いて過ごせる季節でもあります。実りの秋を存分に楽しみましょう。

本広報紙への感想や、ご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

教育委員会ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

<発行者>

高知県教育委員会事務局
教育政策課



(TEL)088-821-4731

(FAX)088-821-4558

(E-mail)310101@ken.pref.kochi.lg.jp